

研修名 マネジメント

平成30年5月8日（火）13:30～16:00

講演 「求められるリーダーシップとは何か」

演習 「理想のリーダー像を考える」

講師 大阪教育大学 小崎 恭弘 氏

1 講演要旨

・ミドルリーダーの位置づけと組織内の役割

管理者と子ども・保護者との間の存在、ベテラン保育者と新人保育者の間の存在、繋ぎ役割の重要性。上から学んだことを下の世代へと受け継いでいくこと

・コミュニケーションの落とし穴

「ダブルバインドセオリー（二重拘束理論）」：言葉の裏の強い思いを読み取らせたい→行き過ぎると子どもや相手にとって脅しになってしまう

「ピグマリオン効果」：教育者が期待を持って見ることで成績が上がる＝逆に見ないと成績が下がっていく、子どもの様々な側面を見ていくことが大切

2 感想

今回の研修を通して、今の組織の中での中堅リーダーの役割や立ち位置について学ぶことができました。自分たちが今まで上の先輩たちから学んできたことや経験を通して身につけてきたことを、下の世代へと受け継いでいくということや、管理者と子どもや保育現場のパイプ役となる存在になる為にもコミュニケーションの取り方や使い方のスキルが身に付くよう、この研修で学んだ「イメージをしっかりと持つておくこと」「メッセージをまとめておくこと」を大切に周りの人と関わっていきたいと思います。またコミュニケーションの落とし穴となる「ダブルバインドセオリー」は自分自身知らずに使っていました。子ど

もへ伝える時、自分や大人の思いを押し付ける形にならないよう、その時々への対応を大切にしていきたいと思います。リーダーとしての自分の役割とただコミュニケーションをとるのではなく、それを活かして保護者や子ども、現場の職員たちと関わるようにしていきたいと思います。研修に参加させていただき、ありがとうございました。

(記録 山鳩こども園 河野祐里恵)